

地域医療研修カリキュラム（松岡小児科医院）

研修目標

1. 一般目標

医療の全体構造におけるプライマリ・ケアや地域医療の位置付けと機能を理解し、将来の実践ないし連携に役立てられるようになるために、診療所で診る患者の疾患や問題が入院患者とは異なることを認識し、病棟における疾患のマネジメントではみられない患者へのアプローチを身につける。

2. 行動目標

- ☐ かかりつけ医の役割を述べることができる。
- ☐ 地域の特性が、患者の罹患する疾患、受療行動、診療経過などにどのように影響するかを述べることができる。
- ☐ 患者の心理社会的な側面（生活の様子、家族との関係、ストレス因子の存在など）について医療面接の中で情報収集できる。
- ☐ 疾患のみならず、生活者である患者に目を向けて問題リストを作成できる。
- ☐ 患者とその家族の要望や意向を尊重しつつ問題解決を図ることの必要性を説明できる。
- ☐ 患者の日常的な訴えや健康問題の基本的な対処について述べることができる。
- ☐ 患者の年齢・性別に応じて必要なスクリーニング検査、予防接種を患者に勧めることができる。
- ☐ 健康維持に必要な患者教育（食生活、運動）が行える。
- ☐ 患者診療に必要な情報を適切なリソース（教科書、二次資料、文献検索）を用いて入手でき、患者に説明できる。
- ☐ 患者の問題解決に必要な医療・福祉資源を挙げ、各機関に相談・協力ができる。
- ☐ 診療情報提供書や介護保険のための主治医意見書の作成を補助できる。

研修方略

Ⅱ. スケジュール

※期間中に下記項目がある場合には研修内容に含める。

- ①松本市休日当番（年に3、4回程度 9:00～19:00）
- ②松本市夜間急病センターへの院長出務（毎月1回程度 水曜日あるいは金曜日 19:00～20:00）
- ③まつもと医療センター・中信松本病院症例検討会（毎月第3水曜日 19:00～20:00）
- ④小児科あるいは地域医療の学術研修会など

研修評価

研修評価は、研修修了時（～その1ヵ月以内）担当指導医が、EPOC-オンライン評価システムにて評価する。最終評価は、まつもと医療センター病院群臨床研修管理委員会でその委員会規定に基づいて行う。